

いろいろな種類の地図データ

古川 玲

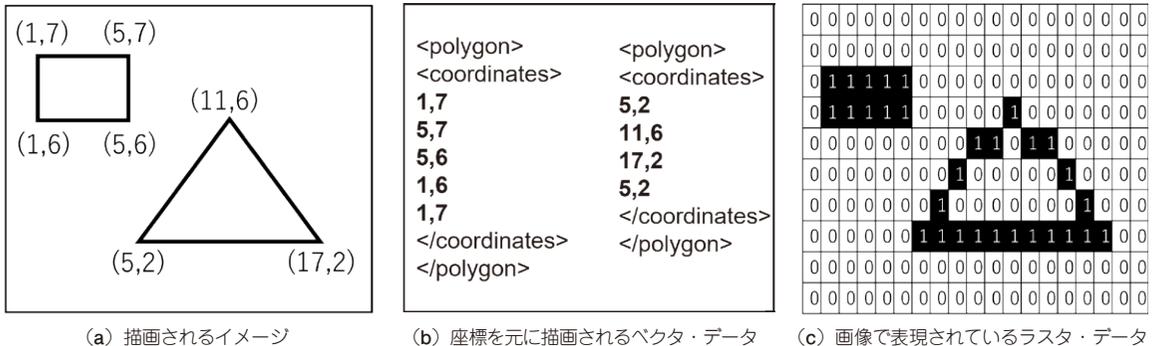


図1 2種類のデータの違い

Pythonのプログラムを使って実際に地図データを処理する前に、地図に関連するデータにはどのようなものがあるのかを紹介します。地図を表現するデータとして、ベクタ・データとラスタ・データがあります。

● ベクタ・データ…線、点、図形をベクトルで表現

ベクタ・データとは、描画される線、点、図形などの形状が座標によるベクトルで表現されたものです。代表的なフォーマットに以下があります。

- Shape ファイル
- KML (Keyhole Markup Language)
- GML (Geography Markup Language)

ベクタ・データは、拡大した場合にも座標を元に再度描画されるため、解像度が落ちない特徴があります

(図1)。

ベクタ・データとしてよく使われるものに国土地理院の基盤地図情報ダウンロードサービス⁽¹⁾の基本項目があります。最近では国土交通省による3D都市モデル整備推進プロジェクトPLATEAUが用意した都市の3Dモデル(CityGML)もベクタ・データとして提供されています。

国土地理院の基盤地図情報の基本項目では以下が提供されています(図2)。

- ポリゴンのベクタ・データで定義された行政区画、水域、建築物
- 線のベクタ・データで定義された海岸線、水域道路線、軌道の中心線、水涯線、建築物の外周線、行政区画の境界線
- 点のベクタ・データで定義された行政区画の代表

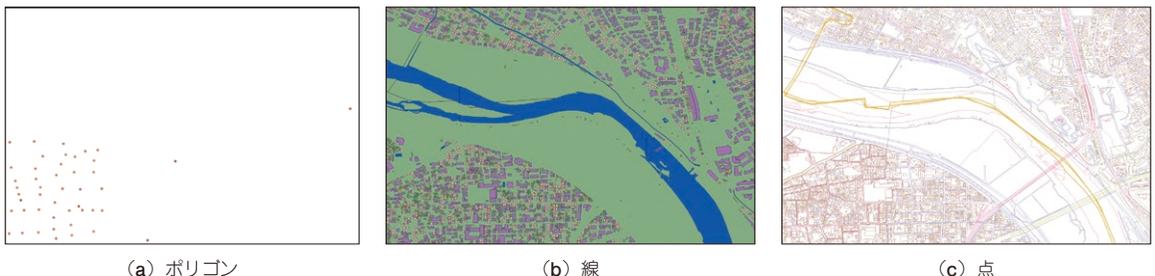


図2 ベクタ・データの種類

◆参考文献◆

(1) 基盤地図情報ダウンロードサービス, 国土地理院。

<https://fgd.gsi.go.jp/download/menu.php>